

株式会社 **ダスキン** | 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
TEL.06-6387-3411 (代表)
www.duskin.co.jp



contents

経営理念・編集方針	P02
会社概要、環境保全活動の歩み	P03
トップメッセージ	P04
ダスキンのエコ	P06
環境マネジメント	P08
環境負荷の低減	P09
クリーンサービス事業	
くりかえし使うエコ	P10
ケアサービス事業	
減らすエコ	P14
レントオール事業／ヘルスレント事業	
みんなで使うエコ	P15
フードサービス事業	
捨てないエコ	P16
ダスキンスクールのご紹介	
喜びのタネまきを実践する「新たな人づくりの礎」	P18
社会への取り組み	P19

祈りの経営ダスキン 経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする

合掌
ありがとうございました

編集方針 環境報告書として10回目の発行となる本報告書では、従来通り主たる4つの事業活動を紹介しながら、各事業の特徴と環境に与えている影響、及びそれらを緩和・改善するための取り組み状況を目標と合わせてご報告しています。是非ご一読いただき、忌憚りの無いご意見を頂戴できれば幸いです。

対象期間 2009年度(2009年4月～2010年3月)を主な対象としていますが、2008年度以前および2010年度の活動についても一部掲載しています。

対象範囲 株式会社ダスキン
国内の関係会社およびフランチャイズチェーン店舗

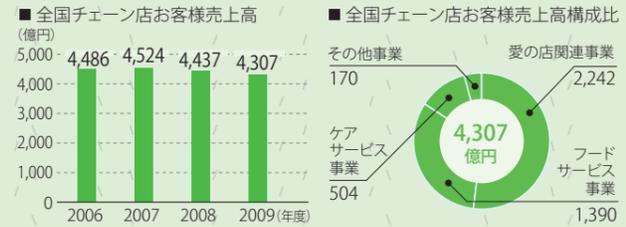
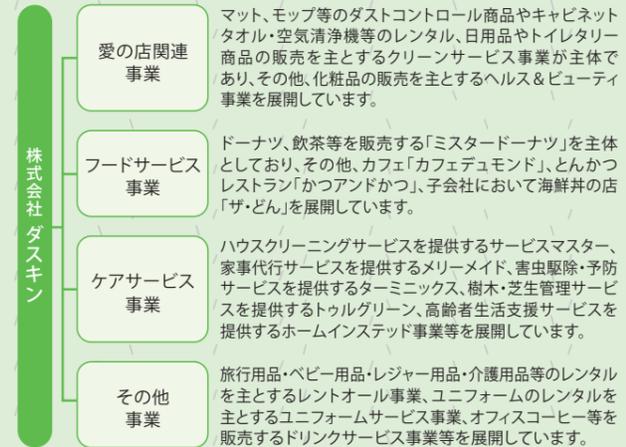
参考ガイドライン 環境省「環境報告ガイドライン2007年版」
環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

お問い合わせ先 株式会社ダスキン
品質保証・リスク管理部 環境推進室
TEL:06-6821-5801 FAX:06-6821-5703

会社概要

社名(商号) 株式会社ダスキン【DUSKIN CO.,LTD.】
 本社 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
 代表取締役 山村 輝治
 設立 1963(昭和38)年2月4日
 資本金 113億円(2010年3月31日現在)
 全国チェーン店お客様売上高※ 4,307億円(2009年度)
 従業員数 2,014人(2010年3月31日現在)

※全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高を参考数値として記載いたしております。



環境保全活動の歩み

- 1963年 ダスキン創業
クリーンサービス事業
(化学ぞうきんレンタルのフランチャイズ展開、工場配置)開始
- 1971年 工場への廃水処理設備配置開始
ミスタードーナツ事業開始
(1974年からは陶器・ガラス食器使用)
ケアサービス(サービスマスター)事業開始
- 1973年 全工場に廃水処理装置を導入完了
- 1978年 レントオール事業(総合レンタル)開始
- 1993年 ミスタードーナツで油のリサイクル処分開始
- 1994年 ミスタードーナツがニューフードサービス推進優良事業者表彰でエコロジカル・フードサービス部門「農林水産大臣賞」受賞
- 1998年 環境理念 環境方針を制定
- 1999年 工場のISO14001認証取得を開始
- 2000年 初の環境報告書「グリーンレポート2000」刊行
生産本部ISO14001認証取得
ミスタードーナツ事業ISO14001認証取得
- 2001年 クリーンサービス事業(営業部門)ISO14001認証取得
ケアサービス事業ISO14001認証取得
レントオール事業ISO14001認証取得
- 2003年 全工場のISO14001認証取得完了
- 2004年 「ダスキン行動基準(第1版)」を発行(環境への基準を含む)
小学生環境教育の場としての工場見学開催開始(横浜中央工場)
レントオール事業でレンタル介護用品シリーズを本格展開開始
- 2005年 環境管理規程の制定
新・環境方針を制定
京都市都心部グリーン配送推進協議会への協力宣言
大阪ガスと共同環境貢献プロジェクト「D・OGプロジェクト」発足
ダスキン企業集団CO₂削減に向けての基本行動計画決定・発表
- 2007年 リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰で「会長賞」受賞
- 2008年 環境宣言制定
- 2009年 フードサービスグループISO14001認証取得



私達は「身近に、未来に、エコのタネまき。」をスローガンに 環境保全活動に取り組んでいきます。

創業からの精神を大切に、環境経営を充実させます。

環境保全に向けた積極的取り組みは、今や事業を営む全ての企業にとって必要不可欠なものであると考えます。

ダスキンは創業から今日まで、生産・販売（お届け）・回収を繰り返す循環型の事業活動に取り組んでまいりました。「もったいない」の精神を共有し、繰り返し使うこと、物を捨てないことを大切にしてきた会社です。レンタルシステムは、定期的に商品のお届けと使用済み商品の回収を行い、回収した商品の再生、再利用、再資源化を繰り返すものです。商品の回収や再資源化のために、お客様が特別な手間をかけずとも、「エコ」への参加につながるシステムです。

新たな成長に向けてダスキンは、「それぞれの地域で、一人ひとり

のお客様に『ダスキンは世界一』とっていただけるサービス会社」を目指し、2013年3月期を達成年度とする中期経営方針を策定しました。その中で「人」「商品・サービス」「しくみ」を積極果敢にスピードをもって変革する3カ年にしていく所存です。環境保全に関しても、これまで以上に充実、飛躍をさせるために、さらなる取り組みを実践してまいります。

事業全体を通じての環境保全へ。

近年、地球温暖化問題に対しての「企業の社会的責任」への関心や要請が高まってきております。昨年、日本政府は「CO₂に代表される温室効果ガスの排出量を、2020年までに1990年比25%削減

ダスキンの目指す方向性

お客さまとの親密性、地域で喜んでもらう店づくり。

地域の一員としての願いや発想がダスキンの展開するフランチャイズシステムの基本です。

地域に根ざした全国2,400を超える加盟店オーナーと約10万人のお客さま係がそれぞれの地域で、お客さまが喜びを感じるサービスを日々提供することで地域でもっとも喜ばれ、地域の信頼度NO.1のサービススタッフ・事業所でありたい、との願いを込めています。

社会への4つの約束

- 1.安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービス、そして楽しさをお手渡しします。
- 2.歪みのない透明で公正な経営姿勢をつらぬき通します。
- 3.地域の人々と喜びを分かち合いながら、心豊かな暮らしに貢献します。
- 4.立場を越えて、自由に意見を出し合い、議論し、決まったことは一つとなって実行する開かれた企業風土を醸成します。

することを世界の国々が参加することを条件に表明しました。こうしたなかで、ダスキンはお客様から回収したモップやマットを洗浄、再生する47工場において、2004年度対比でCO₂排出量のうち約4万7千トンを削減、工場から2004年度当時に排出していたCO₂排出量の45%に相当する削減を実現してきています。クリーングループにおいては他にも、物流・営業におけるエコドライブの徹底実践、ケアサービス事業における薬剤をまかない害虫駆除への取り組みなど、日々の取り組みについて、環境保全を意識したものに改革しています。

フードグループにおいてはミスタードーナツ事業における廃棄ドーナツの飼料化処理の範囲拡大、店舗における省エネ活動の徹底、廃油を使い捨てずリサイクルするなどの取り組みに継続して尽力しています。

2010年4月より施行される改正省エネ法では、外食などのフランチャイズチェーンが一体となり省エネへの取り組みを実施していくことが求められています。ダスキンはフランチャイズ事業を中核としている企業グループであり、ミスタードーナツ事業においてはフランチャイズ店舗のエネルギー使用量の把握を実施、法令遵守を確かなものにすると共に、事業活動全体を通じての自発的取り組みを進めるにあたり、環境経営のコントロールを拡大していく余地が残っているものと認識しています。

「身近に、未来に、エコのタネまき。」をスローガンに。

私達は2008年、企業としての環境に取り組む姿勢を打ち出し、「身近に、未来に、エコのタネまき。」をスローガンとする「環境宣言」を制定しました。これからは「くり返し使う・みんなですぐ減らす・捨てない」を基準とし、レンタルシステムを通して、地球環境に負荷をかけない「商品・サービス」の開発へさらに力を入れてまいります。

今後の環境保全活動に向けて。

私達は「もったいない」の精神を忘れずCO₂の削減だけにとどまらず、地球環境全体をとらえた企業活動を続けていきたいと考えます。

これからもステークホルダーの皆様とよりよいコミュニケーションを図るため、ダスキンの取り組みをお知らせしてまいります。

今後もご支援ご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ダスキ
代表取締役社長

山村 輝治

小さなことでもまずは行動を起こすこと。

この積み重ねが大きなエコの芽を育てていきます。

ダスキンでは、環境や自然を保護する活動を強化するために、「環境宣言」「環境シンボルマーク」を制定しています。これからも、環境に配慮した商品・サービスの開発や、さまざまな社会貢献活動など、全社を挙げて「ダスキンのエコ」を推進していきます。

ダスキンの環境宣言

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、ものを大切にしてきたダスキンは、地球の未来を大切にすため、

くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、これらの視点で、商品・サービスの開発、生産、お届けから使用後までの企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。ダスキンは、身近なところから未来にむかって、エコロジーを育てていきます。



【環境シンボルマーク】

ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

- 1.環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択**
原材料の調達から商品の製造、お届け、お客さまによるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。
- 2.環境負荷が少ない工場稼働**
省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。
- 3.環境負荷が少ない物流と営業・販促活動**
ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組めます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。
- 4.環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備**
省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。
- 5.環境負荷が少ない社会づくりへの貢献**
法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

4つのエコへの考え

ダスキンでは、「くりかえし使うエコ」「減らすエコ」「みんなで使うエコ」「捨てないエコ」の4つのエコへの考えのもと、環境に負荷をかけない人々の暮らしに結びついた商品・サービスの開発に取り組んでいます。



くりかえし使うエコ

くりかえして使う。
ダスキンのお掃除用品であなたもエコ活動。創業時から生産・販売（お届け）・回収を繰り返す循環型の事業活動に取り組んできました。レンタル事業そのものがエコであり、環境保全を重視した企業です。



減らすエコ

薬剤を減らす。
プロの技術で環境にやさしいサービスを。環境に配慮した資器材と高度な専門システムサービスで、お客様により安全で衛生的な生活環境を提供しています。



みんなで使うエコ

みんなで使う。
資源を大切に、身近なことからエコロジー。ダスキンは、みんなが購入せず、みんなで必要な時にだけ使うことで、資源を有効活用できるレンタルを世の中に提案し続けます。



捨てないエコ

使い捨てない。
エコロジーなお店でみなさまをお迎えしています。

1店1店お店で手作りのできたてのおいしさを提供するミスタードーナツでは、資源を使い捨てない環境に配慮した店舗やサービスを促進しています。



ダスキンは環境経営に取り組んでいます。

ダスキンでは1998年に環境理念及び環境方針を制定し、翌1999年から各工場のISO14001認証取得を開始いたしました。2008年には環境宣言を制定し、全社的な環境経営に取り組んでいます。

主な取り組みテーマの一覧

○:目標達成 △:70%以上達成 ×:70%未満

取り組み内容	2009年度目標	2009年度の実績	評価	
全社	電気使用量の削減	直営・関係会社合計 44,832kWh以下	直営・関係会社合計 44,083kWh	○
	紙使用量の削減	直営・関係会社合計 73,234kg以下	直営・関係会社合計 66,708kg	○
クリーンサービス事業	可燃・不燃ごみの減量化	34,400kℓ以下に抑制	33,588kℓ	○
	低排出ガス車への切り替え	5,700台以上の導入	6,220台を導入	○
	店舗周辺のお掃除	193,000回以上の実施	212,196回の実施	○
生産工場	燃料使用量の削減	燃料使用量 1,477kℓ以上削減	燃料使用量 2,518kℓ削減	○
	配送車両の燃費向上	平均燃費 6.80km/ℓ以上	平均燃費 6.71km/ℓ	△
ケアサービス事業	サービスマスター資材容器減容化の推進	3品目以上の資材容器の減容化	4品目で減容化実施	○
	ターミックス薬剤使用の削減	全店舗において液材による駆除からベイト駆除への取扱い100%移行する	89.6%の移行	△
レントオール事業	ECOキャンペーンの展開	応募目標:5,000枚以上	応募総数:4,344枚	△
フードサービス事業	ドーナツ廃棄量の削減	2008年度比5%以上の削減	2.9%の削減	×
	廃棄ドーナツのリサイクル促進	リサイクル実施店舗地域の拡大	関東エリア(365店)から東海エリア(127店)への拡大	○

環境ISOの状況

ダスキンでは生産本部、クリーンサービス事業、ケアサービス事業、フードサービスグループ、レントオール事業/ヘルスレント事業においてISO14001の認証を取得しています。ダスキン環境方針と整合する目標を各事業部で設定し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進しています。

ISOの登録状況

登録日	登録事業	登録対象
2000年3月3日	生産本部	登録対象:生産本部と47総合工場及び小野工場、和倉工場
2000年4月21日	フードサービスグループ(ミスタードーナツ事業)	ミスタードーナツ事業の本部と全ショップ
2001年3月30日	クリーンサービス事業	本部と全加盟店、支店(国内)
2001年4月27日	ケアサービス事業	本部と全拠点
2001年7月26日	レントオール事業 ヘルスレント事業	本部と全店舗
2009年3月19日	フードサービスグループ	フードサービスグループの本部と全ショップ

環境教育の実施状況

新人研修をはじめとする教育・訓練の機会を通じ、ダスキンの環境に対する考え方を社内に広め、浸透させるための環境教育を推進しています。また、生産本部においてはISO14001システム運用レベルの向上をはかるための内部監査員育成講習を継続的に実施しており、これまでに506名の内部監査員を全国の工場・本部に輩出しています。

環境会計

大阪中央工場 省エネに配慮した縦型洗濯機・乾燥機ラインへの入れ替え

ダスキンではマットやモップの洗浄に使用する洗濯機・乾燥機について、従来の連洗機タイプから縦型タイプへの転換を図っております。大阪中央工場においても2009年4月に省エネ乾燥機への切り替えを実施したことで、温室効果ガスを900t-CO₂/年削減することができました。

投資額	費用額(減価償却費)	効果金額	CO ₂ 削減効果
2億6,000万円	2,000万円/年	7,100万円/年	900t-CO ₂ /年



省エネに配慮した、新型洗濯機・乾燥機

環境保全へのお役立ちを通じて。

ダスキンは、美しい地球の未来のために環境問題と真剣に向き合い、環境負荷低減に取り組んでいきます。

「ダスキン企業集団CO₂削減に向けての基本行動計画」

ダスキンは2005年、2012年までに企業全体として約2万3千トンのCO₂排出量を削減する目標「ダスキン企業集団CO₂削減に向けての基本行動計画」を策定し、予定を大幅に前倒して2008年にこの目標を達成しました。

ダスキン企業集団CO₂削減に向けての基本行動計画

カテゴリ	取り組み項目(目標)	CO ₂ 削減効果(t)
省エネ・省資源技術の導入	本社、ミスタードーナツ・レントオール店舗、工場での消費電力を5%削減	4,800
	工場での燃料消費を10%削減	8,200
低公害車の導入	クリーンサービス、ケアサービスの営業車100台を天然ガス車に切り替え	60
	生産トラック100台を天然ガス車に切り替え	610
	業務乗用車(本部・エリア)100台をハイブリッド車に切り替え	30
廃棄物の削減・リサイクル	全営業車・社用乗用車を政府認定☆☆☆以上に切り替え	1,900
	アイドリングストップの徹底	2,000
	閉店時陳列ドーナツの全量リサイクルもしくは削減	3,800
	浄水器カートリッジ回収品などの全量リサイクル	630
全員参加の環境保全活動	未回収商品・容器包装、残った景品などを回収リサイクル	+α
	再生プラスチックや未利用資源(繊維など)の活用	420
省エネ・省資源の徹底した取り組み(チームマイナス6%活動推進など)		1,000
合計		23,450

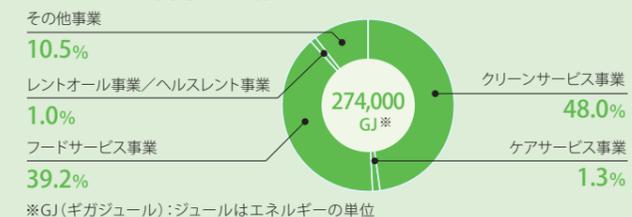
ダスキン企業集団として、CO₂ 23,450t 削減達成

エネルギー使用量の実績

2010年4月施行の改正省エネ法により、フランチャイズ事業を展開するダスキンも特定連鎖事業者*として指定を受け、各種エネルギーの使用実績を把握しています。2009年度における直営事業所までのエネルギー使用状況は下のグラフをご参照ください。各事業における削減の取り組み詳細についてはP.10以降にご紹介しています。

*特定連鎖事業者:定型的な約款による契約を締結し、フランチャイズ加盟店に対する報告要求や指定などの指導影響を及ぼす事業者

エネルギー使用量の実績



全社的な取り組みの状況

オフィスではチームマイナス6%に引き続き、2010年よりチャレンジ25キャンペーンにも参加し、エアコンの温度設定を徹底するとともに、クールビズ・ウォームビズを導入することで快適な職場環境と省エネの両立を図っています。また、本社及び地域本部においては電子会議や業務運用の取り組みによって紙使用量の削減に取り組んでいます。物流では、天然ガス車への切り替えや、ハイブリッドカーの導入を進めながら、エコドライブ講習を必須とするなど、設備投資と運用の両面での取り組みを推進しています。



更なる環境経営の推進

全社的な環境経営のレベルアップを目指して、各事業部から中核となるメンバーを集めたプロジェクトを立ち上げ、中期環境経営計画の策定を開始しています。このプロジェクトではダスキン環境経営のあるべき姿を検討し、3か年計画の策定をゴールとして取り組んでいます。

1

循環型レンタルシステムで資源を大切に扱います。

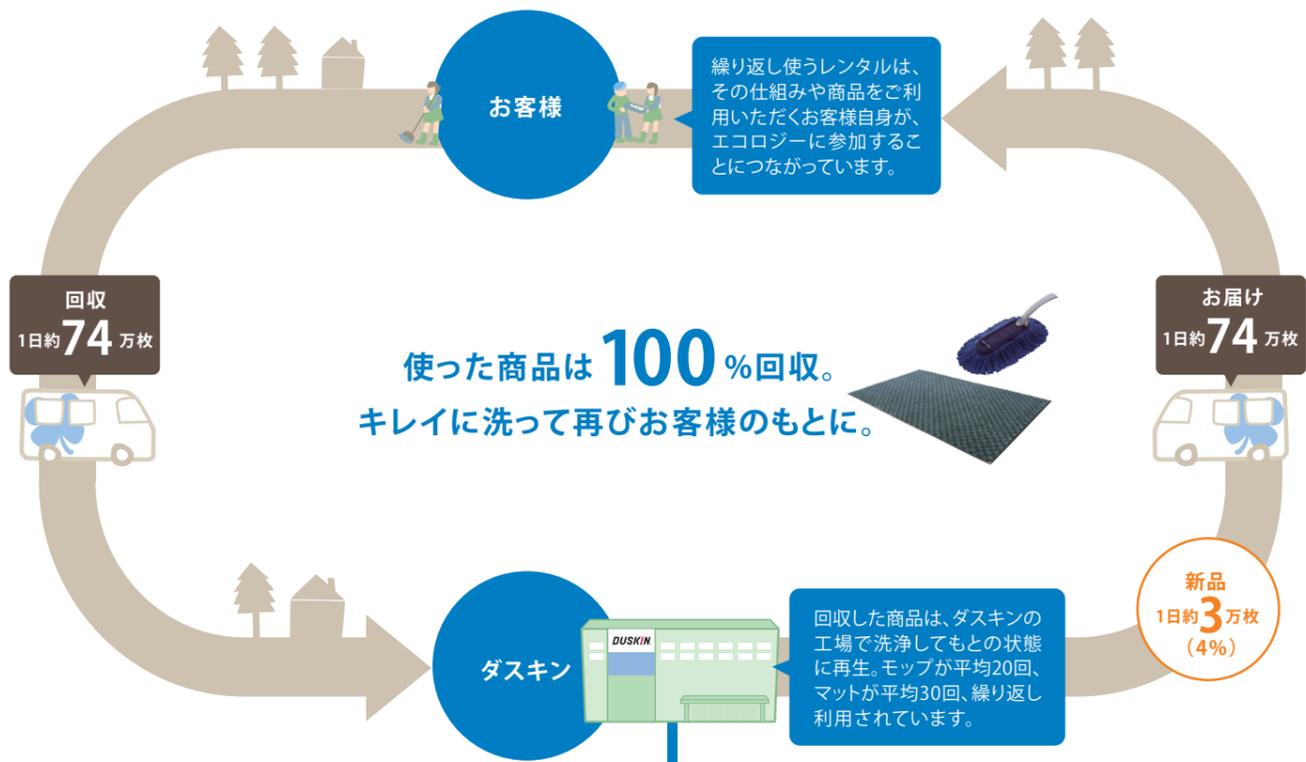
ダスキンでは、お掃除関連を中心としたレンタル商品をお客様へ定期的にお届けしています。販売すると二度と返ってこない商品ですが、ダスキンでは100%回収し、その96%が再び商品化されます。モップやマットについたホコリや汚れも資源化して有効活用しています。

くりかえし使うエコ

循環型のレンタルシステム

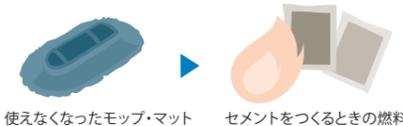
ダスキンでは1963年の創業時から、モップやマットなどお掃除関連を中心としたレンタル商品を、全国のフランチャイズチェーン店を通じてお客様へ定期的にお届けしています。商品を繰り返し

活用するレンタルは、その仕組みや商品をご利用いただくことで、お客様ご自身の環境への取り組みにつながり、資源を循環活用し、より環境に優しい仕組みでお届けします。



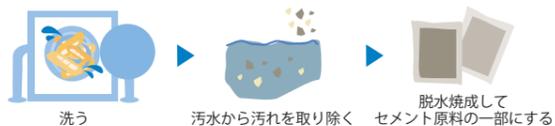
再生ができなくても、最後までしっかり有効活用。

繰り返し使ううちに破れや変色などでどうしても再生できなくなったモップやマットは、セメントをつくるときの燃料として最後まで有効活用します。



モップやマットのホコリも、大切な資源として活用します。

モップやマットを洗って汚れた水から取り除いたホコリや汚れは、脱水してスラッジという固まりにします。スラッジは、セメント原料の一部として活用しています。



環境に配慮した商品

ダスキンは限りある資源を有効に使い、ゴミを減らす商品をお届けしています。

レンタルマット

事業所用の一部のマットなどに、再生ペットボトル繊維を使用しています。2006年からは、複数の再生繊維をパイル(布地)全体の50%以上に使用した「エコリサイクルマット」も商品化しています。



レンタルモップ

繊維製品の紡績工程で発生する短繊維などの「未利用繊維」は従来は廃棄されていた部分ですが、この「未利用繊維」を使用した「ノンオイルモップ・エコ」として商品化しています。



詰替パウチ

洗剤類は詰替えてご使用いただけるようパウチタイプを用意しています。省資源となり、財団法人日本環境協会からエコマークの認定も受けています。



再資源化に取り組んでいます

モップ、マット以外の商品でも回収・再資源化をすすめています。マットやモップのパイルなどのレンタル繊維製品だけでなく、使えなくなったモップの柄や空気清浄機本体、浄水器本体、キャビネットタオル本体などを回収して分解、再資源化する取り組みを全国で行っています。対象商品はそれぞれのお店が責任を持って回収後、工場を経由しリサイクル業者に送られ一品一品分解・解体され、ほぼ100%再資源化されています。

アイドリングストップ

ダスキンでは、2007年より「アイドリングストップ活動」を導入し2008年より地域性(寒暖の差)に関係なく取り組める「エコドライブ推進活動」を引き続き推進しております。この活動には全国約18,000台の車が参加し環境保全活動に取り組んでいます。



※1分間のアイドリングストップによるCO₂排出量を約23gと仮定して試算

エコドライブを実践!

今年1月、国内の温室効果ガス排出量を2020年に1990年比25%減とすることを政府が正式に決定しました。企業としての社会的責任を果たすため、2009年からは社内で「エコドライブ推進活動ガイド」が発行され、エコドライブの知識も深まっています。さらに快適なエコドライブが実践できるよう「エコドライブ通信」が年に3回発行され、私達も日々積極的に取り組んでいます。この「エコドライブ通信」ではエコドライブの小技巧や、現場の声、燃費集計データなど活動に役立つ情報が掲載されています。エコドライブはCO₂削減だけでなく交通違反の撲滅やレンタルの効率アップにも役立っているんです。

ダスキン今宮支店 Rサーヴ 武田 周

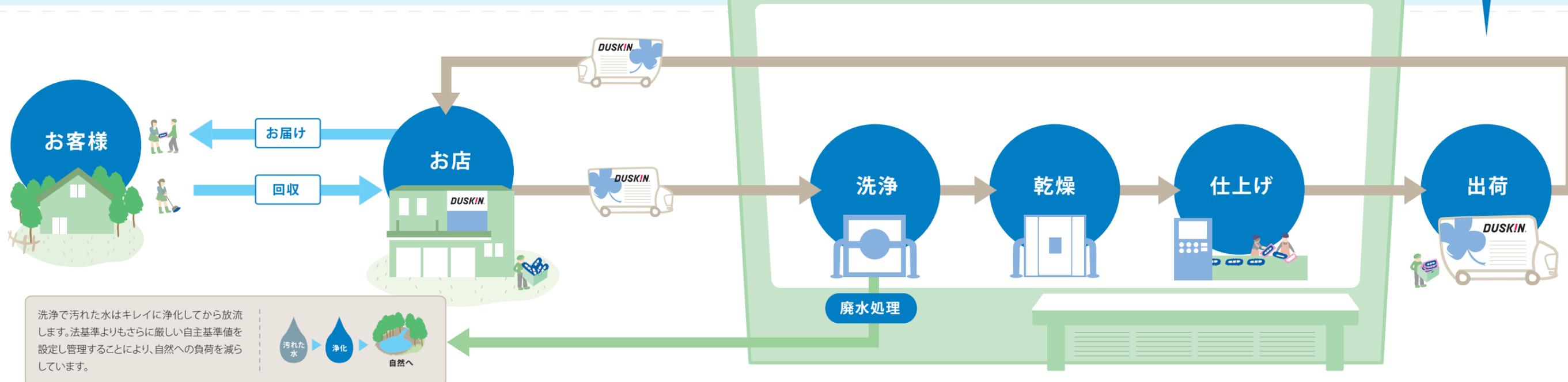


1

全国の工場でも資源を大切に扱っています。

ダスキンの全国47工場では、省資源で省エネルギーな工場稼働に努めCO₂や廃棄物削減等へも取り組みながら回収したモップやマットを洗浄・再生して再び商品としてお店に発送しています。これからも美しい未来のために環境への負荷を可能な限り抑えて行く努力を続けていきます。

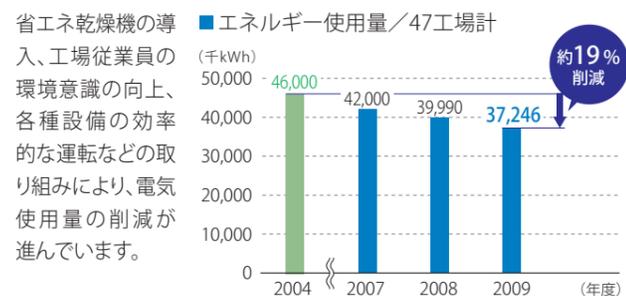
くりかえし使うエコ



洗浄で汚れた水はキレイに浄化してから放流します。法基準よりもさらに厳しい自主基準値を設定し管理することにより、自然への負荷を減らしています。



エネルギー使用量(工場電気)



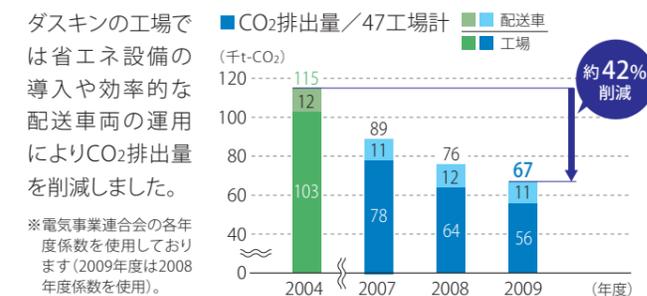
水の使用量



洗剤使用量



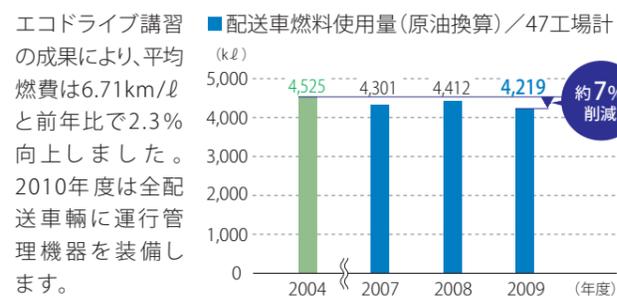
CO₂排出量



エネルギー使用量(工場燃料)



エネルギー使用量(配送車燃料)



工場での環境保全への取り組み



大阪中央工場では、1999年にISO14001の認証を取得し、従業員一同、日々環境負荷低減に取り組んでいます。身近なエコ活動から、省エネ設備(洗濯機・乾燥機・照明等)導入による燃料消費やCO₂排出量の削減、ルート配送車のエコドライブ推進による燃費向上などに努めています。また、廃水処理設備により、モップやマット等の洗浄水の25%以上をリサイクルしています。加えて、洗浄後に残るホコリや汚れなどの塊(スラッジ)は、セメント原料として資源化しています。今後も継続的かつ定期的な従業員への教育活動により、環境意識を向上させ、更なる“環境にやさしい工場”を目指していきます。

大阪中央工場 ISO推進担当 岡島 由加里

2

減らすエコ

環境に配慮したプロのサービスをお届けします。

ダスキンでは、プロの技術でお客様の快適な生活環境づくりをサポートしています。スタッフがご家庭やオフィス、お店などへ訪問するケアサービス事業では、高い品質を維持しながら、より環境に配慮したサービス技術や薬剤の開発・導入に取り組んでいます。

サービスマスター

頑固な汚れもプロにお任せ。信頼の技術でキレイにすっきり。
ご家庭、事業所向けのお掃除サービスです。プロの技術とサービスで快適な空間づくりをお手伝いします。



新たな掃除プログラム「グリーンクリーン」を導入

2008年からダスキンでは、独自の基準を設け、「人(居住者・作業中)」と「環境」に配慮した新たな掃除プログラム「グリーンクリーン」の導入に取り組んでいます。

※グリーンクリーン薬剤自主基準：
PRTR非該当、厚生労働省指針13物質非配合、PH(原液)5以上9以下などその他9項目を設定

メリーメイド

忙しいあなたにくつろぎのひと時を。あらゆる家事の代行サービス。
お客様のお宅を定期的に訪問し、ご要望に合わせて、お掃除を中心に様々な家事を代行します。



合成洗剤を減らすエコお掃除

肌へのトラブルが心配なお客様や、小さなお子様がいらっしゃるご家庭、床をなめるペットが心配なお客様などのために、合成洗剤を使わないお掃除サービスをご用意しています。

ターミニックス

害虫獣の予防・駆除。大切なお店や住まいを守る。
ゴキブリやシロアリ、ネズミなどご家庭や飲食店、施設の害虫・害獣を徹底的に予防・駆除します。



薬剤をまかない害虫駆除

ゴキブリ駆除に環境保全型総合害虫管理(IPM)システムをいち早く取り入れ、薬剤を散布しないバイト工法を採用。薬剤使用量を散布の場合の30分の1以下に抑えます。また調査中心の害虫管理を推進することで、モニタリングトラップによる監視を継続し、さらに薬剤使用量の削減に取り組んでいます。

トゥルグリーン

緑に囲まれた快適空間を。庭のお手入れサービス。
お庭の樹木のケアを年間プログラムで実施。抵抗力を高め、病害虫の被害を抑える日常管理のアドバイスも行っています。



樹木の年間お手入れサービス

トゥルグリーンでは、お庭の状況に合わせて、お庭全体への散布が部分散布かを選択し、不必要な薬剤の使用を行いません。

ユニフォームのリサイクル

2006年よりユニフォームのリサイクルシステムを導入し、2009年は**16,040枚**回収することができました。



お客様との環境コミュニケーション

私達メリーメイドはケアサービスの中で、一般のご家庭を訪問してお掃除サービスを提供するチームです。アレルギーをお持ちのお客様や小さいお子さま、ペットがいらっしゃるご家庭は特に事前に確認して、刺激やニオイの少ない洗剤を使用するよう心がけています。その中でも、ダスキンが独自開発したワイピングクロスは水だけで驚くほど綺麗に仕上がるので喜んでいただけます。レンジフードのお掃除では羽根やファンを分解して浸け置き洗いますが、その汚水はお店に持ち帰り、適切な処理を行ってから排水しています。

ダスキン服部南 メリーメイド マネジャー 下野 宏美



3

みんなで使うエコ

資源を有効に使うレンタルショップ。

ダスキンではベビー、トラベル、イベント用品や、介護・福祉用具のレンタル事業を展開しています。レンタルによって限りある資源を有効活用することで「みんなで使うエコ」を推進しています。

レントオール事業

一つの商品をみんなで使うことで資源の活用効率が大幅に向上します。例えばダスキンレントオールでは、ベビーベッドだけでも年間約48,000件*1ご利用いただいています。仮にお客様ご自身でご購入されると、約48,000台分の資源が必要になりますが、実際には約15,400台*2です。つまり、32,600台(約67%)の資源が使われずにすんでいるということ。身近なことからはじめるエコロジー。私達は赤ちゃんの未来のためにも地球への負担を減らしていきたいと考えています。

*1: 2009年1月~2009年12月レンタルご利用件数(再契約含む)
*2: ベビーベッド保有台数



ヘルスレント事業

福祉用具のレンタルで安心の定期メンテナンスと環境貢献。福祉用具はご利用者の身体状況や症状に合わせて提供しますが、時には福祉用具の入れ替えも必要になってきます。福祉用具レンタルのメリットは定期的な訪問点検により、いつも安心して使い続けることができることにあります。買わないことで、レンタルによる安全・安心と、環境に貢献しています。



介護ベッドレンタル利用数



車いすレンタル利用数



※ダスキンヘルスレントの利用台数3月度前年比較

店舗での環境保全への取り組み

ダスキンレントオール目黒ステーションでは地域へのお役立ちとともに「地域との共存」を重点テーマとして活動しています。いままでは安易に考えていたゴミの廃棄も工夫によって少なくすることで「物」の有効活用を考えています。たとえば、ベビーベッドの発送時に使用していた段ボール箱は、今年すべてナイロン製の発送用バッグに切り替えました。段ボールのゴミがなくなり環境負荷軽減になることはもちろんですが、お客様にとっては商品返却まで折りたたんで保管ができますので、保管場所をとらないと、好評をいただいております。

RA目黒ステーション 店長 荒川 昭多



4

捨てないエコ

エコロジーなお店でおいしいドーナツを。

心を込めた手づくりドーナツをご提供するミスタードーナツのお店では、省エネルギーに取り組んでいます。また、閉店時の陳列ドーナツを出来るだけ減らすことで廃棄物の削減にも取り組んでいます。「捨てないエコ」を実践する、お近くのミスタードーナツに是非お越しください。

閉店時陳列ドーナツの廃棄削減とリサイクル

ドーナツの廃棄個数を削減するため、ショップでは製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる管理を徹底して行っています。また閉店時に残ったドーナツは回収し、飼料化処理工場で原料化し、そのまま飼料としてリサイクルしています。このシステムは2008年度までは関東エリアの365店で行っていましたが、2009年度には東海エリアの127店へ拡大し現在、合計492店で稼働しています。今後は他の地域へも拡大させ約700店規模になる計画です。



廃油は100%リサイクル

ドーナツを調理した後に廃棄される油(年間約1,440t)は、全て回収し、飼料や工業用原料としてリサイクル活用しています。また、その一部は液体石鹼にリサイクルし、ショップの洗剤として利用すると共に、モップやマットを洗浄、再生するダスキンの工場にボイラーの燃料としても活用しています。2010年1月には、廃棄する油の量を減らす取り組みも実施いたしました。



食器は使い捨てずに再利用

創業初期より、使い捨てる紙製品ではなく、おもに陶器やガラス製の食器を使っています(ショッピングセンター等のフードコートではガラスや陶器を使用できないため、紙コップ等を使用しています)。紙製を使った場合と比べて年間でおよそ719tの紙の削減につながっています。



ショップの省エネ

ショップでは日々、水道光熱メーター管理やこまめな消灯などの省エネ活動に努めています。さらに店舗の改装に合わせて省電力型の設備を導入する準備を進めています。

- 導入準備を進める設備
- 1. 照明や看板のLED化
- 2. シースルー型熱線反射フィルム
- 3. 循環型排気システム
- 4. 電力使用量の遠隔監視システム



環境に配慮した新ユニフォーム

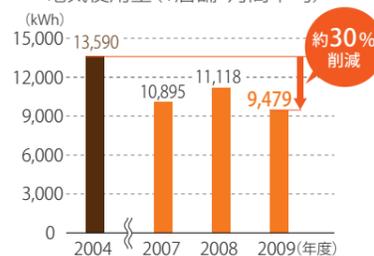
ミスタードーナツのユニフォームは、「リサイクルポリエステル素材」を使用しています。帝人ファイバー株式会社のリサイクル技術を導入することにより、繰り返し新しい繊維に生まれ変わらせることができ、ユニフォームの半永久的なリサイクルが可能になりました。



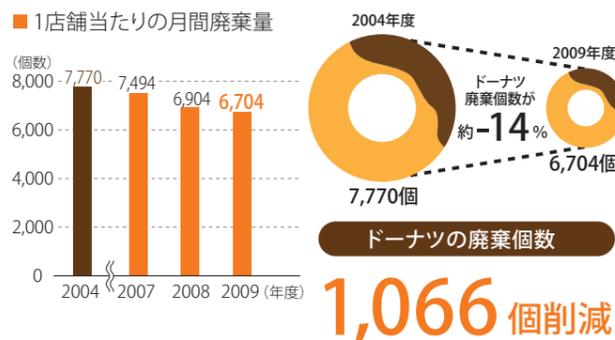
CO2排出量

年度	対象範囲	CO2総排出量	店舗平均(年間)
2009年度	1,314店	62,800t	47.8t

電気使用量(1店舗・月間平均)



水道使用量(1店舗・月間平均)



店舗での環境活動とお客様の反応

ミスタードーナツでは全国的に閉店時陳列ドーナツの廃棄削減に取り組んでいますが、最近では確実に定着していると感じています。毎日、決まった時間に販売状況をチェックし、追加で製造するドーナツの数を決めますが、閉店前でもある程度の商品数を残しておかないと、お客様が好みのドーナツを購入できなくなってしまうので工夫が必要です。他にも出来るだけ電気や水を無駄使いしないよう、スタッフ全員で心がけています。お客様からもテイクアウトのビニール包装はいらないよ、と言っていただくことも多く、社会全体でも環境への取り組みが広がっていることを実感しています。

江坂芳野町ショップ 副店主 平井 理絵

喜びのタネまきを実践する「新たな人づくりの礎」。

2010年、喜びのタネまきを実践する「新たな人づくりの礎」として創業の地に新しい教育施設「ダスキンスクール」が完成しました。このダスキンスクールには様々な環境配慮が施されています。



屋上緑化
屋上緑化により直下階の空調消費電力を削減しました。ここでは、ツールグリーン(ケアサービス事業)の実務研修を実施しています。

LED照明
屋外のサイン看板や館内の一部に「高照度」「省電力」「長寿命」のLED照明を採用しています。

雨水の活用
地下に187m³の貯留槽を設置し、貯蔵した雨水を植栽への水やりに使用しています。また、大雨時の近隣への冠水対策にも貢献しています。

ダスキンは人の手を介するサービスを提供するため、携わる者の人間的な成長なしには、お客様の満足はありません。人の成長に重きをおいた創業者の意思を受け継ぎ、全事業の教育施設がダスキンスクールに集結しました。環境に配慮した設備を随所に採用し、施設内には、会議室や研修室などを備えています。

太陽光パネル
一部のガラスに太陽光発電パネルを採用し、年間最大2,200kWhを発電しています。



感謝と祈りの碑



敷地内に鎮座する「人」の文字を表現したモニュメント「感謝と祈りの碑」。創業者である鈴木清一の「喜びのタネをまこう」の詩が刻まれています。

社会への取り組み

どんなときでも、私達の心にあるのは、「させていただく」という感謝の気持ちです。だから、あなたの街で、社会の中で、より多くの皆様と一緒に様々な活動に取り組んでいます。

ダスキ工場見学

ダスキンの工場では、小学生を対象にした「工場見学」を実施しています。工場見学では、汚れたモップやマットを回収し、再び商品化されるまでの工程を紹介します。さらに、工場に出た廃水をキレイにする実験や吸着剤の付いたモップと付いてないモップの機能の違いを楽しく体験・学習してもらいます。次代を担う子ども達に環境にやさしい循環型の仕組みを紹介し「モノを大切にすることの重要性を伝えます。



学校教育支援活動

「未来を担う子ども達に掃除の知識や習慣を身につけ、基本的な掃除用具の正しい使い方を理解できるようになってほしい、更には、ゴミの捨て方や環境のことも考えてもらいたい」という願いから学校教育支援活動が始まりました。学校の掃除時間を、次世代の子ども達を育成する実践の場として活用していただけるよう、カリキュラムの提供や、先生方を対象とした研修の支援なども行っています。

■ 2009年度 研修開催教育委員会 (29教育委員会で実施)

都道府県	実施数	都道府県	実施数	都道府県	実施数
東京都	5教育委員会	神奈川県	1教育委員会	兵庫県	6教育委員会
千葉県	2教育委員会	愛知県	1教育委員会	奈良県	1教育委員会
埼玉県	1教育委員会	大阪府	10教育委員会	広島県	2教育委員会



上記のイベント情報や環境への取り組みなどをご紹介しています。ダスキホームページ <http://www.duskin.co.jp>

子ども達が身近な環境問題やお掃除について楽しく学べます。ダスキキッズタウン <http://www.duskin.co.jp/kids>

クリーンアップマイタウン

ダスキンは創業以来、全国の事業所や工場、お店の周辺で定期的な清掃活動を行っています。「クリーンアップマイタウン」は、地域の方々と一緒にゴミを拾う活動を通じて身近な街をキレイにできればという想いで2006年にスタートし、2009年までに約7万人の方々にご参加いただきました。今後も地域の方々と一緒に、自分の街をキレイにする活動を全国で進めてまいります。

■ クリーンアップマイタウン活動実績

開催年	参加人数(人)	ゴミ回収量(ℓ)
2006	15,138	—
2007	15,870	26,680
2008	19,651	22,519
2009	18,176	15,885

※2006年はゴミ回収量を集計しておりません。



愛の輪運動基金

今年で30周年を迎える「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」“障害のある方の自立と社会参加”を目指し、アメリカやヨーロッパなど福祉の先進国へ400人以上の研修生を派遣しています。また、1999年からは障害のあるアジア太平洋地域の若者を日本に迎え、社会福祉を担うリーダーとしての育成も行っています。

